

登山者にメールの命綱

今もお噴煙を上げ続ける長野、群馬県境の浅間山(標高二、五六八メートル)で、緊急の火山情報や気象警報を携帯電話のメールで知らせる全国初の「登山者登録システム」の実証実験が行われている。登山者でさえわら紅葉の秋山に出かけ、体験してみた。

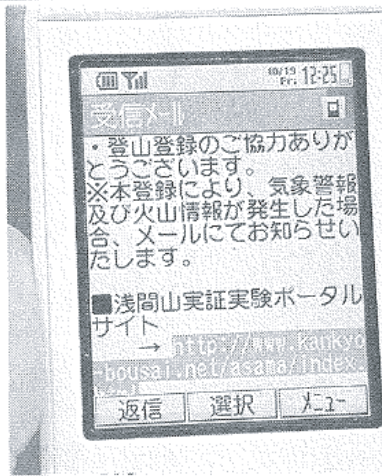
(野呂法夫)

浅間山は、百名山の一つで登山者の人気が高いが、二〇〇四年九月に噴火し、立ち入り禁止となった。その後、火山活動は徐々に沈静化し昨年九月、火口から五百メートルまで入山可能となり、登山者数も昨年は二万五千人近くに回復した。だが世界有数の活火山だけに、登山者がいつ危険にさらされるかわからない。防災無線は外輪山の黒斑山(二、四〇四メートル)山頂と火山館の二カ所にあるが、「聞き取れない場所もあり、より安全・安心して登

浅間山で実験に参加

火山、気象情報配信

浅間山登山者登録システムの実証実験画面



山ができるようにしたい」と、その一つ、浅間山西側のとぶもとの長野県小諸市防車坂峠を訪れた。平日だが紅葉シーズンとあって中高年の登山者が多い。登山口発する登山者の命綱ともなる携帯に目を付けた。同市とNPO法人環境防災総合政策研究機構(東京)が共同で、入山時に登録した登山者には、気象庁の緊急・臨時火山情報などをメールで送信する仕組みを開発。その実証実験が今月六日、二カ所の登山口で始まり、十一月いっぱい取り組む。山登りに必要な登山者登録をメールに登山者数をチェックして

「有事」不安は解消 圏外、や個人情報課題も浮き彫り



携帯電話を利用した浅間山登山者登録システム 実証実験にご協力をお願いします。

登録方法

- ① 携帯電話でバーコードを読み取るか、おさいふケタイをかざして、空メールを送信します。
- ② 受信メールのアドレスから登山・下山登録をします。

登山登録をすると...

- ・火山情報及び気象警報をメールでお知らせします。
- ・ポータルサイトからライブカメラの映像などがご覧になれます。

注意書き

- ・登録受付中につき通常の「登山者」登録とは異なる場合があります。
- ・登録の浅間山登山が安全に実施されることを目的としています。

浅間山の登山口には参加協力を呼びかける看板が—長野県小諸市の車坂峠で

登録ボタンを押すと、完了が届いたが、雲行きが怪しい。途中の黒斑山に替く霧の中。眼前に浅間山は現れない。「有事」を思うと不安が少し解消した。

登山カードを書き、さあ出発。目指すは蛇骨岳(二、三六六メートル)で往復四時間だ。登山道ではほぼ電波が聞かない。国交省が設置するライブカメラも視界不良が続いてしまつた。

急に心細くなり、実験中無事下山した。最後は下山登録を送信して終了。これを怠ると山の中に入り、情報が送ら

だが、噴火の際は浅間山の様子が見えなくなる。気象情報をみると、天候は悪くなく、ガスは一時的なようだ。幸い緊急メールもなく、

羽朝、再挑戦し、朝日を背にした浅間山の噴煙を見上げられ、心も晴れた。同機構によると、実験に参加したのは百人ほど。送信したのは気象情報だけだが、幾つかの検討課題も浮き彫りに。「カメラ付き携帯を持たない中高年が多い」「電波が届かない谷間がある」「名前や住所の書き込みは必要か。個人情報保護の問題は?」。安否情報の活用については、居場所が分かる衛星利用測位システム(GPS)が必要となり、当面は無理という。

松尾一郎事務局長は「参加者の大半が仕組みづくりに賛同している。本格的な実証実験をし、実用を目指したい。活火山周辺の登山や観光に有効に必要な道具になるだろう」と話す。

ニュースの道筋